※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「地理総合」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「“なぜ”人々はこんなに不便な場所に住んでいるのか」、「“どうして”地震や津波が起きるのか」、日常生活の中にある“なぜ”や“どうして”を地図や地球儀、ＧＰＳ(位置情報システム)など色々な道具や方法を使って学びます。
・いろいろな文化を持った人々の暮らし、それに伴って起こる様々な問題を地理的な視点から考え理解することで、色々な人がいるこの世界で互いを認め合うことができる力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

(1)様々な文化や地理的諸課題について地図やGIS（地理情報システム）を用いて正しい知識を身につけ理解する能力を養う。
(2)地理的諸課題について自ら進んで考え、解決しようとする主体的な態度の養成をめざす。
(3)情報収集から問題解決までを地理的な視点から多面的・多角的に考え行動することができる力の育成をめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：文化の多様性や、環境問題をはじめとする諸課題、自然災害と防災といった地理的な事象を理解する技能：地図やスマートフォンなどのGIS（地理情報システム）などを用いて、情報の収集や必要な情報の取捨選択など、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べる技能を身に付けようとする。	地理的事象を位置関係や人々の生活との関わり、自然環境との関わりなどに着目して、内容の把握・問題解決までを一貫して多面的・多角的に考察することができる。また、地理的諸課題の解決方法について考えたことを的確に説明したり、それについて議論したりすることができる能力を身に付けようとする。	地理的諸課題を自ら進んで考え、議論して、解決しようとする態度を身に付けている。また、物事を多面的・多角的に考え、深い理解を通して我が国の国土に対する愛情や世界の諸地域の多様な生活や文化を尊重しようとする意識を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期(4月)　後期(9月)	自然環境と生活文化	山地、平野、海岸における地形の特徴や気候帯とその気候の特徴が人々の生活文化にどのような影響を与え、人々はどのように適応しているのかを学ぶ。	a:地形の変化などを適切に読み取り、地形や気候の特徴と人々の生活文化の関わりについて理解している。 「日本の位置と領域」について、世界的視野から日本の位置を捉え、我が国固有の領土について理解している。 b: 地形や気候の特徴と人々の生活文化の関わりについて、多面的・多角的に考察し、レポート等にまとめて発表するなど適切に表現している。 c:地形や気候によって生まれる様々な生活上の課題について、主体的に考え、解決策などを見つけようとしている。	単元テスト 授業プリント	考察課題 レポート	振り返りシート 授業態度
	産業の進展によって変化する生活文化(東アジア)	人々の生活を支える産業がどのように発展してきたのか、また、経済発展やそれに伴う社会の変化が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかを、グローバル化という視点を取り入れながら学ぶ。	a:東アジアの経済発展の過程を中国の都市と農村の格差などを例にして考え、適切に情報収集したりまとめたりできる。 b:急速な経済発展の中での都市と農村の社会変化の違いや、生じている様々な諸課題について多面的・多角的に考察し表現している。 c:東アジアの急速な経済発展について主体的に追求し、その解決方法について意欲的に考えている。	単元テスト 授業プリント	考察課題 レポート	振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

前期(5～6月) 後期(10～11月)	宗教に基づいた生活文化(西アジア・北アフリカ)	イスラーム教が西アジアを中心に広がった理由を交易路など地理的要因から考える。また、イスラーム教の考え方や習慣などについて考えることで、人々の生活文化の中でどういった存在となっているのかを考察する。	a:イスラーム教の成り立ちやヒンドゥー教との違い、イスラーム社会の抱える問題などについて、必要な情報を収集し、適切に理解している。 b:イスラーム教の広がりや分布について主題図の作成などを通して適切に表現している。 c:イスラーム社会における諸課題や日本をはじめとする身近な社会との関わりについて主体的に考えている。	単元テスト 授業プリント	考察課題 レポート	振り返りシート 授業態度
	国家・民族・言語の結び付きと生活文化(ヨーロッパ)	ヨーロッパにおける多様な民族や言語の存在について考えるとともに、地域統合が人々の生活や文化に与えた影響を学ぶ。	a:世界の民族分布及びヨーロッパのそれを地図などから適切に読み取り、地域統合の過程と関連付けて理解している。 b:異言語、異民族間での諸課題や地域統合に伴う人々の暮らしと諸課題について、レポート等を通して適切に表現している。 c:地域統合による多文化共生やその中で起こる格差の問題について主体的に考え解決策を考えている。	単元テスト 授業プリント	考察課題 レポート	振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

前期(7～9月) 後期(12～2月)	地球的課題と国際協力	エネルギー問題や環境問題など地球規模で発生している諸問題について、世界で行われている取り組みや具体的な解決策について考える。	a:諸問題が発生するまでの過程やその現状を統計資料や地図などから適切に読み取り、問題解決に向けた世界的な取り組みについて理解している。 b:諸問題の要点が何かを考え、自分たちには何ができるのか、などを発表やレポート等で適切に表現している。 c:諸問題について主体的に追求し、課題学習に向けて学習したことを生かそうとしている。	単元テスト 授業プリント	考察課題 レポート	振り返りシート 授業態度
	自然災害と防災	自然災害と自然環境の関係、その歴史について考え、地震や津波、風水害の被害軽減のために何が行われているのか、また、自分たちには何ができるのかを学ぶ。	a:地震や津波をはじめとする災害について、その仕組みや被害の歴史を理解し、また、地図や資料から適切に情報収集することができる。 b:日本での自然災害の特徴を世界と比較して考察し、ハザードマップの作成など、被害軽減に向けて一人ひとりができることを考え適切に表現している。 c:自然災害に関して引き起こされる被害について主体的に追求し、自らの生活に大きく関係する被害について意欲的に考察しようとしている。	単元テスト 授業プリント	考察課題 レポート	振り返りシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度